

今年度もコロナ対応の中で始まりましたが、5月に感染症としての扱いが変わり、昨年までに比べてずいぶん楽な生活ができるようになったと思います。

しかし、みなさんよく知っているように、感染者数はじわりじわりと増え続けており、あらためて警戒しなければならない状況です。今日で1学期が終わり、明日からは夏休みです。開放的な気分の中ですが、コロナやインフルエンザなどの感染症に加え、交通安全や水の事故、熱中症など、気をつけなければならないことがたくさんあります。今日の終業式は、元々は体育館に集合して実施する予定でした。

これは、今まで全校で一堂に行う式をほとんど経験していないみなさんにとって、非常に大切な経験であると、私が強く思っているからです。ですが、想定を遙かに上回る気温の上昇により、熱中症の危険が高いと判断し、急遽リモートで実施することにしました。先生方が、みなさんの身体を一番に考えて提案し、対応してくれたお陰です。快適な環境の中で1学期を振り返りましょう。

まずは、この1学期、みなさん勉強や部活、資格取得など、よく頑張りました。これからも気を抜かずに頑張りましょう。

さて、つい先日、またまたみなさんの本物に出会いました。本校の数名の生徒が、水工西側のフェンス沿いで高齢者の方が倒れているのを発見し、見事なチームプレーで、先生に連絡を取ったり、お水をあげたり、交通整理をしたり、指図されたわけでもないのに自分の役割を理解して迅速に行動し、その方の危機を救ったと聞いています。これができるのが水工生だな、と感心しつつ、とても誇らしい気分になっています。ありがとう。一方で、日常の生活では、様々な指摘や、場合によっては直接指導される場面もあります。その都度、素直に受け止めて、望ましい行動がとれるようになって欲しいと思います。みなさん若者の成長は、失敗の繰り返しの中にあると思います。やってみて失敗するから、次には自信を持って取り組める、そう

いうものだと思います。ただし、その失敗は、みんなのために、より良いものを求めて挑戦する姿勢の中になくってはなりません。

やっちゃいけない、これをすると大きな損害がある、人を傷つける、とわかっていながらの、自分の都合を優先した行動の結果は、失敗ではなくてただの迷惑です。自分の儲けのために、他人への配慮を無視して迷惑行為を繰り返す、いわゆる迷惑系ユーチューバーなどに憧れる人はいないと思いますが、彼らは想像力が足りない人の行く末です。

そうならないためには、お互いを信じて、人のために行動が起こせる静かな心と勇気が必要です。まずは、身近な人を信じることを意識してみましょう。コロナ禍の中で、コミュニケーションが少なくなっていたと思います。信頼を取り戻して、安心して失敗できる環境を築きましょう。

明日からの夏休み、お家の方や親戚、近所のおじさん、おばさんなどと、話をする機会が増えると思います。対話の中で信頼関係を確認してみましょう。部活やクラスの仲間とも、お互いを信じることで、ますます絆が太く強くなると思います。私は今年度「信頼」をキーワードとして水工を始めました。この「信頼」もとに、水工生の本物を、さらに強く、揺るぎないものにして、水工の、水工生の素晴らしさを世間に見せつけてください。これから進学先の高校を選ぶ中学生にも、みなさんの姿が憧れの的になると思います。

夏休みに自分に磨きをかけて、きらきらと輝くみなさんと、2学期に元気に再会できることを楽しみにしています。

3年生はこの夏休み、将来のための踏ん張りどころ。覚悟を決めて頑張り！

以上、1学期終業式のあいさつとします。